

料金別納郵便



萩焼 坂倉正紘 展

令和5年7月26日(水)～31日(月) 会期中無休

開廊時間：午前11時～午後7時（最終日31日は午後5時まで）

作家在廊日：7月26日(水)～30日(日)

陶歴 昭和58年 山口県長門市生まれ 父は十五代 坂倉新兵衛
平成19年 東京藝術大学 美術学部 彫刻科 卒業
平成21年 同大学大学院 彫刻専攻 修了
平成23年 京都市伝統産業技術者研修 修了
平成29年 「明日への扉」(ディスカバリーチャンネル) 出演
平成31年 「ブレイク前夜」(BSフジ) 出演
令和2年 初個展 (柿傳ギャラリー)

「一茶、二萩、三唐津」。茶の湯の茶碗についてこう言われる程、萩焼は茶の湯にかかせない窯業地です。一口に萩焼と言っても、萩市の窯と、萩市西隣の長門市の窯に二分され、今回ご紹介する坂倉正紘さんの窯は長門市にあります。窯の近くには、私も大好きな名湯、長門湯本温泉があり、近くを流れる音信（おとずれ）川では、この拙筆を書いている水無月の頃、無数の蛍達が飛び回っている事でしょう。私も一度、彼の地の蛍を拝見したのですが、その想像を絶する光の海は圧巻で、心か奪われました。

坂倉正紘さんは、十五代 坂倉新兵衛氏の後嗣であり、作陶と茶の湯の道を真っ直ぐに歩まれています。三年前の夏には、貴重な初個展の場に未熟な弊廊をお選び頂き、感謝の気持ちで一杯でした。さて、本展では、最新作の茶陶など、120点を発表致します。ご案内状用にと送ってくださった裏面の茶盃は、小躍りする良盃でした。高台付近の火間と口造りのべべらが見所になっていて、引き締まったやや小ぶりの佇まいも緊張感があります。いつもながら唯一無二な正紘釉薬の上がりも良く、さぞ美味しい一服が頂ける事でしょう。正紘作品の真骨頂は、古萩を守りつつ、でもそこに彼らしい清新な息吹きを加え、茶陶にあきたらず、オブジェなどの造形物にも果敢に挑まれている所でしょう。

心豊かなお人柄で愛陶家の皆様の心を掴んで離さない正紘さんもご在廊予定です。暑い最中の展示で恐縮ですが、ご清覧頂き、若き陶工に厳しいご指導を頂ければ幸いです。私もいつかまた、正紘さんを訪ね、長門の湯につかり、音信川の蛍に会いに行きたいと願っています・・・ 店主 安田尚史

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

